



『カンガルー』作：別役実

1967年作。同年文学座アトリエで藤原新平演出で初演。翌年、新宿ピットインで別役実自身の演出（唯一の演出！）で上演。作品の背景には当時の日本の閉塞感とヒッピー文化の台頭があると言われる。以下は、2012年演出丸尾聡の公演に本人が寄せた文章より。「カンガルーはかなしい。カンガルーは死なねばならない。なぜならカンガルーだから。しかし安心してはならない。カンガルーが箸で食物を食べはじめたら用心したほうがいいだろう。」別役実



『唐版・風の又三郎』作：唐十郎

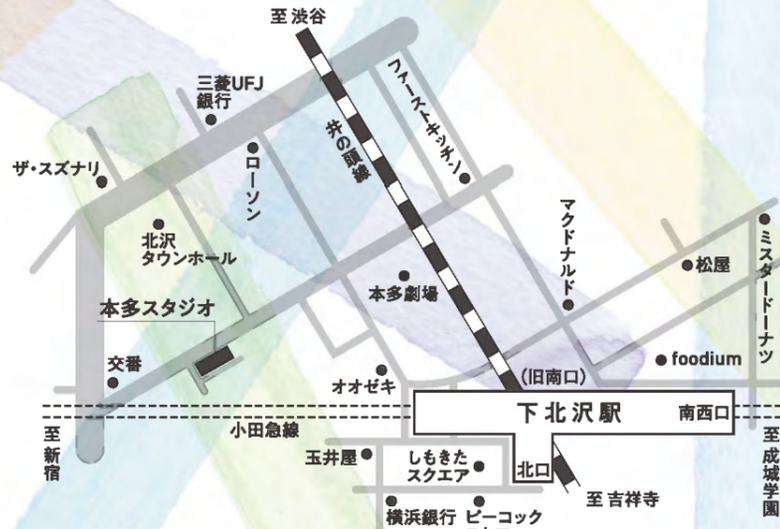
1974年作。同年状況劇場にて初演。宮沢賢治「風の又三郎」のリリズムに、唐十郎の想像力が縦横無尽に駆け抜ける傑作戯曲。こう始まる。「死の花嫁を捜しにどこへ行く、オルフェ。死の魔窟は……死の耳はどこにある。分かっているよ。僕たちは分かっているんだ。そして、わざとこんな風ないいぶりで、何かを計っていることも。さあ、行こう、代々木のテイタンへ。そして、もはや、ここはテイタン。言わぬそばからテイタンなのだ。そのテイタンの奥に謎の小学校がある」

本多スタジオ

東京都世田谷区北沢 2-9-13-2F

小田急小田原線・京王井の頭線「下北沢」駅より徒歩6分

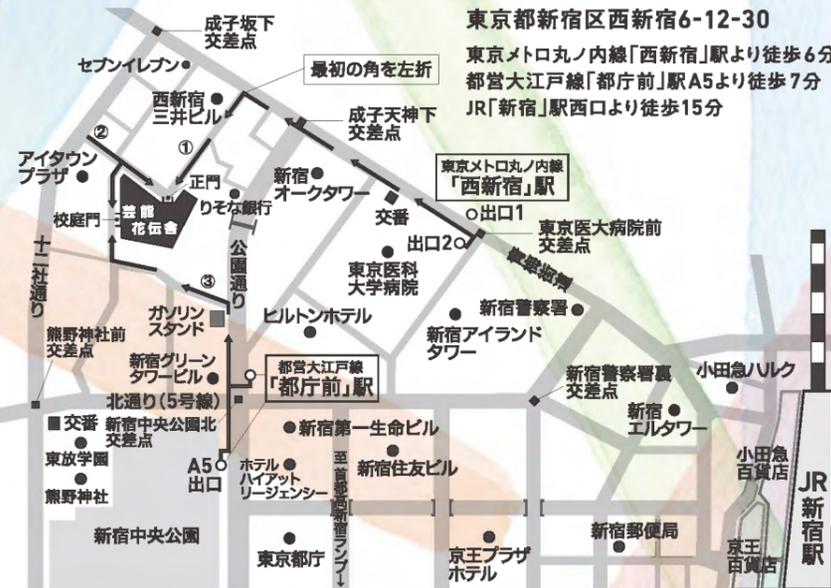
※2018年3月25日に下北沢南口は閉鎖となりました。ご注意ください。



芸能花伝舎

東京都新宿区西新宿6-12-30

東京メトロ丸の内線「西新宿」駅より徒歩6分
都営大江戸線「都庁前」駅A5より徒歩7分
JR「新宿」駅西口より徒歩15分



参加・入場お申し込み お問い合わせ先

日本の戯曲セミナー 東京実行委員会

✉ gikyoku_tokyo@yahoo.co.jp

☎ 090-6513-7904 (コバヤシ)

お名前、年齢、所属、連絡先（メール、電話など）を明記の上、メールにて、あるいはお電話にてご応募ください（電話には出られない場合がありますので、留守電にメッセージをお願いいたします）

プロデューサー：丸尾聡
プロデューサー補：小林拓生
ファシリテーター：川口典成

文化庁委託事業「平成30年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

主催：文化庁、一般社団法人日本演出者協会
企画・制作：一般社団法人日本演出者協会

宣伝美術：松田陽子
当日運営：高橋俊也

日本の戯曲研修部（関東）：

川口典成 岩崎聡子 黒川逸朗 蔵人
黒澤世莉 小林拓生 坂手洋二 篠本賢一
外波山文明 中村喈夫 林英樹
日澤雄介 松森望宏 丸尾聡

一般社団法人日本演出者協会

〒160-0023

東京都新宿区西新宿 6-12-30 芸能花伝舎 3F

TEL：03-5909-3074

FAX：03-5909-3075

✉ j_d_a_info@yahoo.co.jp

http://jda.jp/

研修 参加者募集

2018年9月開催「日本の戯曲研修セミナー」in 東京

Vol. 1

戯曲を「読む」「話す」「学ぶ」、
そして「発表」する。
戯曲を面白がり、読み解き、遊ぶ。
研修に参加してみませんか。

- 日程(研修8回・発表2回)：
9/8(土)、9/13(木)、9/16(日)、9/21(金)、
9/24(月)、9/26(水)、9/27(木)、9/28(金)、
9/29(土)、9/30(日)
- 会場：本多スタジオ(下北沢)ほか
- 研修参加費：5,000円(テキスト費込み)
※日本演出者協会会員は無料
※1回ごとの参加も歓迎します。参加費：800円/1回

別役実 & 唐十郎を 読む！

現代演劇の源流を探る！！



『カンガルー』&『唐版・風の又三郎』

別役実 (べつやくみのる、べつやくみのる)

1937年、満州生まれ。処女作と言われる「AとBと一人の女」から50年以上にわたって150本以上の戯曲を発表。1963年「マッチ売りの少女」「赤い鳥の居る風景」で第13回岸田國士戯曲賞を受賞。日本の不条理劇を確立した。舞台には必ずと言っていいほど一本の電信柱、あるいはそれに相当するような柱のようなものが立つ。日本劇作家協会会長(1998~2002)、兵庫県立ビッコロ劇団代表(2003~09)。

ドラマリーディング & シンポジウム 聴講募集

肉声を通して戯曲が立ち上がる。
同じ場所で戯曲を「共有」し、「戯曲の話」
を楽しみませんか。
両日とも二本の戯曲をリーディング！

- 日程：9/29(土)、9/30(日) 13:00-18:00(予定)
- 会場：本多スタジオ(下北沢)
- 入場料：1,500円 ※日本演出者協会会員は無料

唐十郎 (からじゅうろう)

劇作家、演出家、俳優。1940年東京生まれ。劇団「状況劇場」を旗揚げし、紅テントで各地を巡演した。「天井桟敷」の寺山修司、「早稲田小劇場」の鈴木忠志、「黒テント」の佐藤信と共に「アングラ四天王」と称される。1960年に「少女仮面」で岸田國士戯曲賞受賞。現在は劇団「唐組」主宰。また、小説「佐川君からの手紙」で芥川賞を受賞している。